

地域公共交通に関すること

まちづくり・公共交通推進特別委員会資料
令和7年6月11日
防災まちづくり部地域交通政策課

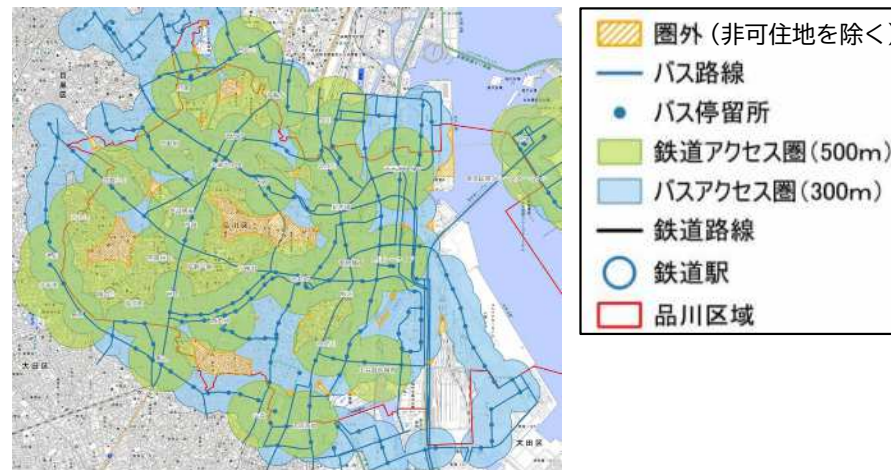
地域公共交通に関する計画・方針

品川区地域公共交通基本方針

現在、品川区には鉄道駅が延べ40駅、路線バスが60系統存在し、交通の利便性は高い環境にある。区内の交通利便性の更なる向上をめざし、各交通サービスが担う役割や今後の取組みの方向性を示すことを目的として令和2年に策定した。



駅勢圏・バス停勢圏図



自転車活用推進計画

近年の自転車利用に関する機運が高まりから、環境対策、交通対策、健康増進等への対応として令和6年3月に「品川区自転車活用推進計画」を策定。

5つの重点施策を位置付け、安全で快適な自転車利用環境を創出していく。

【重点施策】

- (1) 交通安全教育の推進
- (2) 交通安全対策の実施
- (3) 通園の安全対策の実施
- (4) 商店街対策の実施
- (5) 自転車通行空間の整備

1 路線バス

区内には、3つのバス事業者（都営、東急、京急）により主要な幹線道路を中心に路線バスが計60系統運行されており、身近な交通手段として区民に広く利用されている。

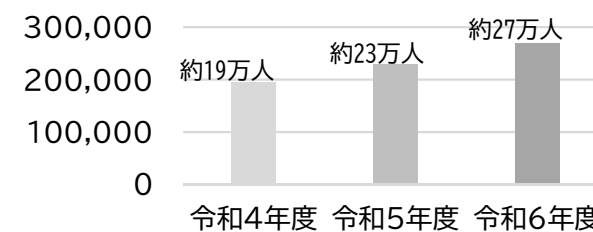
事業者	都営バス	東急バス	京浜急行バス
系統数	16	28	16

2 コミュニティバス

「しなバス」の試行運行

「品川区コミュニティバス導入計画」に基づき、民間公共交通機関を補完する役割として、コミュニティバスの試行運行を西大井駅と大森駅北口を結ぶ区間で令和4年3月より開始した。

年間利用者数の推移（人）



- ・これまで子育て支援割の導入など、利用者の増加に向けた施策を実施。
- ・利用者数は増加傾向であり、令和6年度は約27万人が利用。

3 デマンド交通

「しなるん」の実証運行

交通サービス圏域外における地域の交通課題の解消、高齢者や子育て世帯、障害児者の移動支援を検証するため、令和7年7月よりAIオンデマンド交通の実証運行を荏原地区で実施する。

乗降場所目印（自立式・貼付式）



しなるん 乗降場所

運行予定の車両



4 シェアサイクル

品川区シェアサイクル事業

まちの散策、観光スポットへのアクセス向上、通勤・通学やお買い物などの新たな交通手段として、平成29年10月から開始した。現在は15区と広域連携し、区をまたいでの利用が可能となっている。

ポート	110カ所
ラック	1,021ラック

令和7年4月1日現在

